

三重県
令和2年度3R適正処理セミナー

SDGsによる持続可能な経営
～資源循環の視点から～

2020年12月

環境カウンセラー（事業者部門）/環境経営士
関根 久仁子

SDGsについて

SDGs（持続可能な開発目標）と環境

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsの特徴

- ・すべての国と人に関係（普遍性）
- ・みんなで取り組む（参画型）
- ・経済・社会・環境の三側面でバランスをとりながら実行（統合性）

SDGsの理念

我々の世界を**変革**する：持続可能な開発のための2030アジェンダ
Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development

(抜粋)

すべての国とすべてのステークホルダーは、協同的なパートナーシップの下、この計画を実行する。

私たちは、人類を貧困と欠乏の圧政から解き放ち、地球を癒やし安全にすることを決意している。

私たちは、世界を持続的で強靱な路線に移すために、緊急に必要な、大胆で変革的な手段をとることを決意している。

私たちはこの共同の旅に乗り出すにあたり、**誰一人取り残さない**ことを誓う。

No one will be left behind

SDGs（持続可能な開発目標）と環境

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

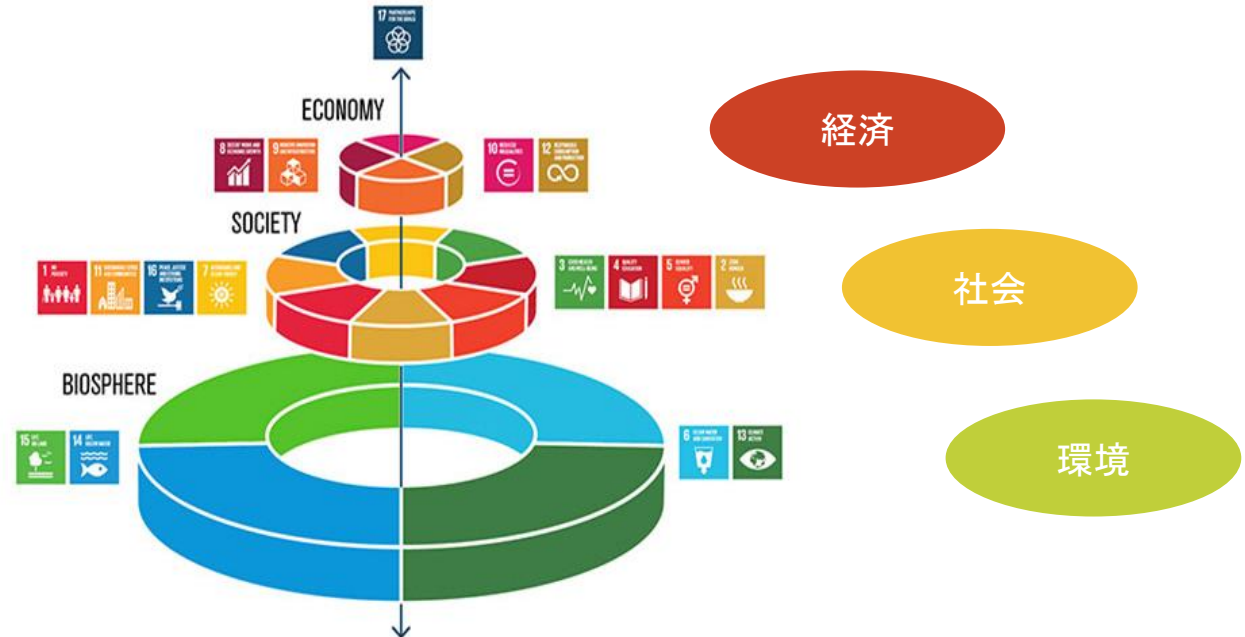


SDGsの特徴

- ・すべての国と人に関係（普遍性）
- ・みんなで取り組む（参画型）
- ・経済・社会・環境の三側面でバランスをとりながら実行（統合性）

SDGs ウエディングケーキモデル

人間社会と経済活動のサステナビリティは自然からの恵みによって支えられている
「環境（生物多様性）」を土台に成立している。



目標とともに設定された169の「ターゲット」

17の目標を達成するための具体的な目標
「気候変動」は最も深刻なリスクの一つ

13 気候変動に 具体的な対策を



気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を実施する

<具体的な目標>

- 13.1 すべての国々で、気候関連の災害や自然災害に対するレジリエンスと適応力を強化する。
- 13.2 気候変動対策を、国の政策や戦略、計画に統合する。
- 13.3 気候変動の緩和策と適応策、影響の軽減、早期警戒に関する教育、啓発、人的能力、組織の対応能力を改善する。

SDGsにもとづく廃棄物の発生抑制と資源循環の促進

ごみを資源と捉え、地球にもどし、完全に循環するかたちにしよう

ゴール12 持続可能な消費と生産パターンの確保

- 12.2 2030年までに**天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用**を達成する。
- 12.3 2030年までに小売・消費レベルにおける**世界全体の一人あたり食料の廃棄を半減**させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける**食品ロスを減少**させる。
- 12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や**すべての廃棄物の管理を実現**し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や**廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減**する。
- 12.5 2030年までに、**廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減**する。

ゴール14 海洋・海洋資源の保全

- 14.1 2025年までに、海洋堆積物や富栄養化を含む、**特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減**する。
- 14.2 2020年までに、海洋及び沿岸の生態系に関する重大な悪影響を回避するため、強靱性（レジリエンス）の強化などによる持続的な管理と保護を行い、**健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復のための取組**を行う。



SDGsはさまざまな問題の同時解決を目指す

SDGsの目標を達成するために他の目標を犠牲にしてはダメ。
イノベーションがトレードオフ解消のカギに

<重要な3つの視点>

世界や社会ニ
ーズに合わせ
た目標設定

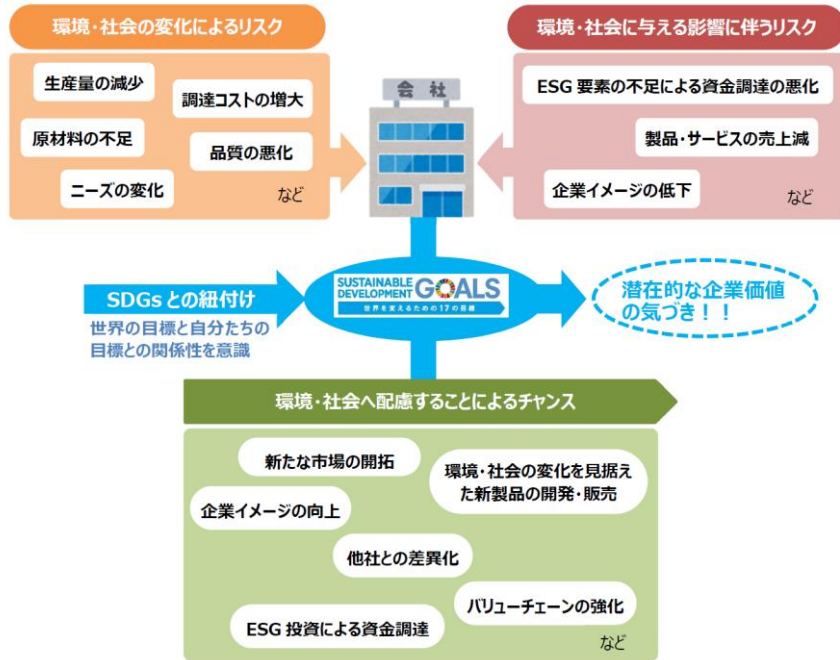
外部視点から
必要な目標設
定を

実施する取り
組み全体に
“持続可能性”
を組み込む

企業とSDGs

企業がSDGsに取り組む意義

SDGsは企業経営のチェックリスト 経済成長をもたらすビジネスチャンス



企業にとってのリスクとチャンス

出典：環境省「すべての企業が持続的に発展するためにー持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイドー」

SDGsの達成は可能性を引き出す

2030年までの4つの
経済システムを通し
たビジネス価値だけ
でも年間12兆ドル



食品および農業
2.3兆米ドル



都市と都会のモビリティ
3.7兆米ドル



エネルギーおよび原材料
4.3兆米ドル



健康および福祉
1.8兆米ドル

3億8,000万
件以上の雇用の
創出

出典：Better Business, Better World, Business & Sustainable Development Commission

出典：wbcsd「持続可能な開発目標CEO向けガイド」

企業がSDGsを活用する主要なメリット

SDGs の活用によって広がる可能性

企業イメージの向上

SDGs への取組をアピールすることで、多くの人に「この会社は信用できる」、「この会社で働いてみたい」という印象を与え、より、**多様性に富んだ人材確保**にもつながるなど、企業にとってプラスの効果をもたらします。

社会の課題への対応

SDGs には社会が抱えている様々な課題が網羅されていて、今の社会が必要としていることが詰まっています。
これらの課題への対応は、**経営リスクの回避**とともに**社会への貢献**や**地域での信頼獲得**にもつながります。

生存戦略になる

取引先のニーズの変化や新興国の台頭など、企業の生存競争はますます激しくなっています。今後は、SDGs への対応がビジネスにおける**取引条件**になる可能性もあり、**持続可能な経営を行う戦略**として活用できます。

新たな事業機会の創出

取組をきっかけに、地域との連携、新しい取引先や事業パートナーの獲得、新たな事業の創出など、今までになかった**イノベーション**や**パートナーシップを生む**ことにつながります。

近年加速・拡大するESG投資にも

SDGsと若者世代

- ミレニアル世代や就活生などに対するSDGsアピールが活発化
- ESD（持続可能な開発のための教育）の推進により、
学校教育の中にもSDGs



「SDGsネイティブ」であるミレニアル世代のプレゼンスが投資家・従業員・消費者として向上する中、SDGs経営は投資・人材・顧客獲得の重要なカギ



出典：農林水産省 「食品産業とSDGsのつながり」
<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/sdgs/seminar/attach/pdf/index-8.pdf>

子どもたちと未来をつくる



SDGs for School

出典：Amazon HP

<http://www.thinktheearth.net/jp/>

自社で貢献できそうな目標から取り組む



全ての目標に取り組む必要はない



まずは本業と関わりの深い
「できること」「できそうなこと」から
取り組むことを始めることが重要。

とりあえず何かやってみる
ことから始めましょう！



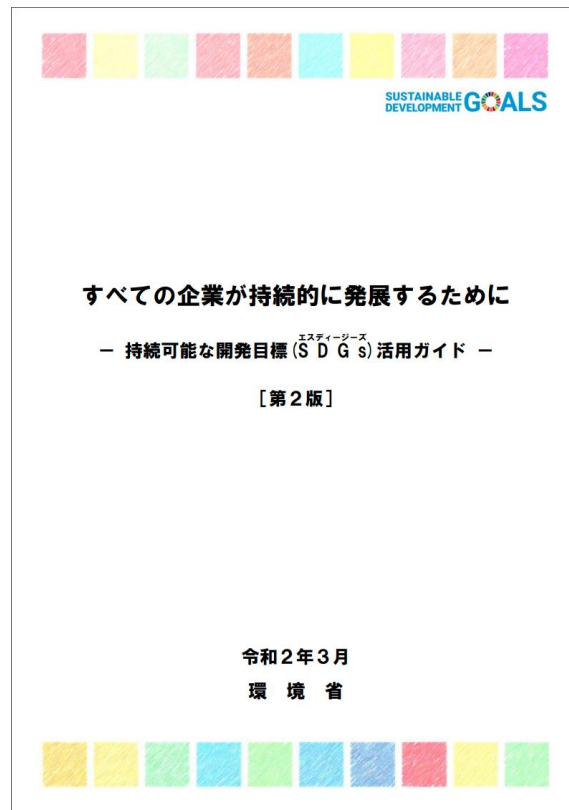
出典：環境省「すべての企業が持続的に発展するために―持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド―」



どうやってSDGsに取り組めばよいのか？



出典：GRI, UNGC, WBCSD 「SDGs Compass SDGsの企業行動指針—SDGsを企業はどう活用するか—」
<https://sdgcompass.org/wp-content/uploads/2016/04/SDG-Compass-Japanese.pdf>



出典：GRI, UNGC, WBCSD 「SDGs Compass SDGsの企業行動指針—SDGsを企業はどう活用するか—」
https://www.env.go.jp/policy/sdgs/guides/SDGsguide-honpen_ver2.pdf

SDGsの目標を達成するためのアプローチ(1)

「SDGs Compass」のステップ

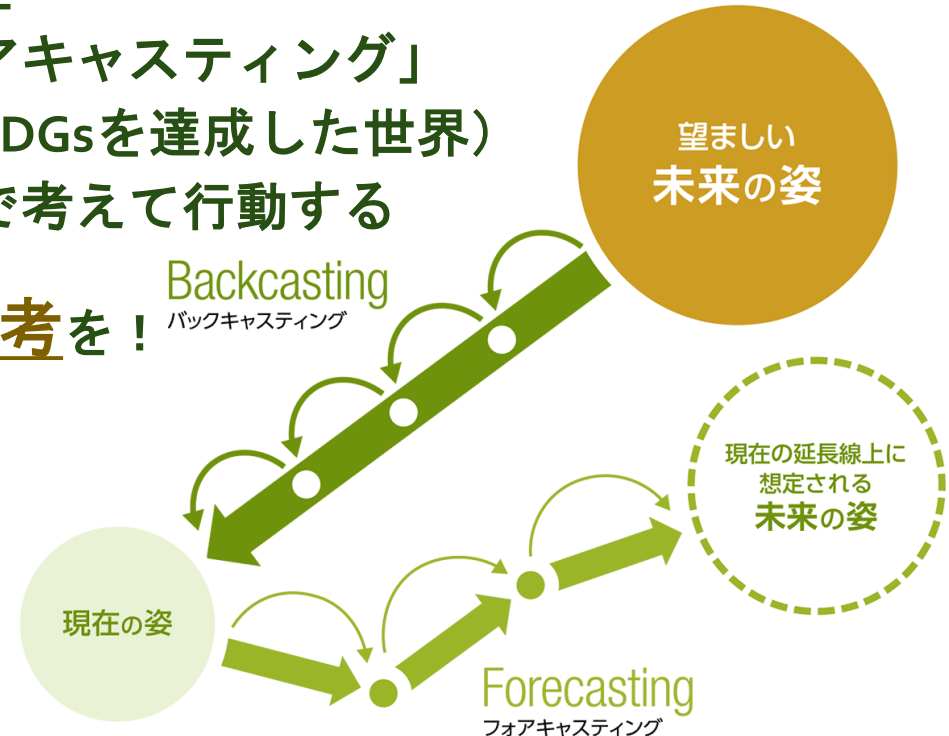


SDGsの目標を達成するためのアプローチ(2)

現在の延長線上に想定される未来を

「将来目標」として据える「フォアキャストिंग」
ではなく、未来のあるべき姿（=SDGsを達成した世界）
から遡り、今やるべきことを逆算で考えて行動する

「バックキャストिंग」思考を！



出典：株式会社グリーンフィールドコンサルティングHPより
greenfield-japan.com/service/back_casting.html

SDGsへの取り組み方

取組の意思決定

手順1：話し合いと考え方の共有

- 1) 企業理念の再確認と将来ビジョンの共有
- 2) 経営者の理解と意思決定
- 3) 担当者（キーパーソン）の決定とチームの結成

PLAN（取組の着手）

手順2：自社の活動内容の棚卸を行い、SDGsと紐付けて説明できるか考える

- 1) 棚卸の進め方
- 2) 事業・活動の環境や地域社会との関係の整理
- 3) SDGsのゴール・ターゲットとの紐付け

ACT（取組の見直し）

手順5：一連の取組を整理し、外部への発信にも取り組んでみる →評価結果を受けて、次の取組を展開する

- 1) 外部への発信
- 2) 次の取組への展開

PDCAサイクルを回す

出典：環境省「すべての企業が持続的に発展するためにー持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイドー」

DO（具体的な取り組みの検討と実施）

手順3：何に取り組むか検討し、取組の目的、内容、ゴール、担当部署を決める

→取組の行動計画を作成し、社内での理解と協力を得る

- 1) 取組の動機と目的
- 2) 取り組み方
- 3) 資金調達について考える

CHECK（取組状況の確認と評価）

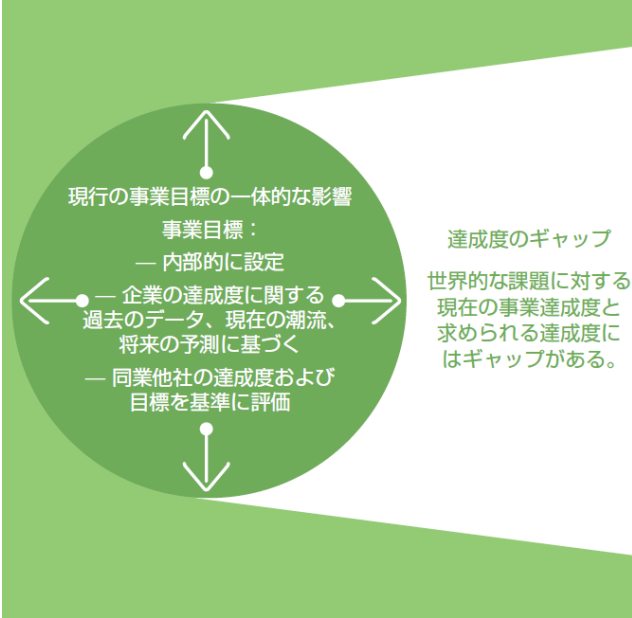
手順4：取組を実施し、その結果を評価する

- 1) 取組経過の記録
- 2) 取組結果の評価とレポート作成

SDGsの目標を達成するためのアプローチ(3)

インサイド・アウト・アプローチ

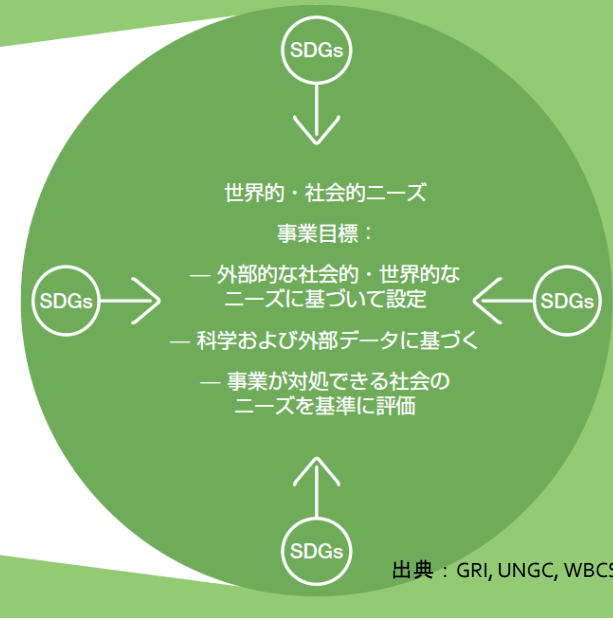
目標設定に対し、内部中心的なアプローチを取る今日的なあり方では、世界的な課題に十分対処することができない。



アウトサイド・イン・アプローチ

世界的な視点から、何が必要かについて外部から検討し、それに基づいて目標を設定することにより、企業は現状の達成度と求められる達成度のギャップを埋めていく。

SDGsは、国際的に望ましい到達点に関しての前例のない政治的合意である。



出典：GRI, UNGC, WBCSD 「SDGs Compass SDGsの企業行動指針—SDGsを企業はどう活用するか—」

SDGsで気をつけるべきこと

- 一つの目標だけ見てはいけない

例えば・・・食品ロスを減らすには労力が必要

→適正なバランスと、判断を助けるルールが重要



VS



- サプライチェーン全体をみななければいけない

例えば・・・自社では捨てたくないから賞味期限間近の商品は取引先に返品

→協働で社会全体の問題を解決

- 「SDGsウォッシュ」ではいけない



SDGs



Whitewash
うわべだけの
白塗りでごまかした



- 令和の感覚で考えなければいけない (ゲームのルールが変わっている)

一番の抵抗勢力は「社内のベテラン」

循環型社会の形成に向けて

持続可能な循環型社会構築に関連する主な SDGsのゴール

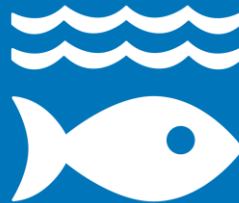
12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう

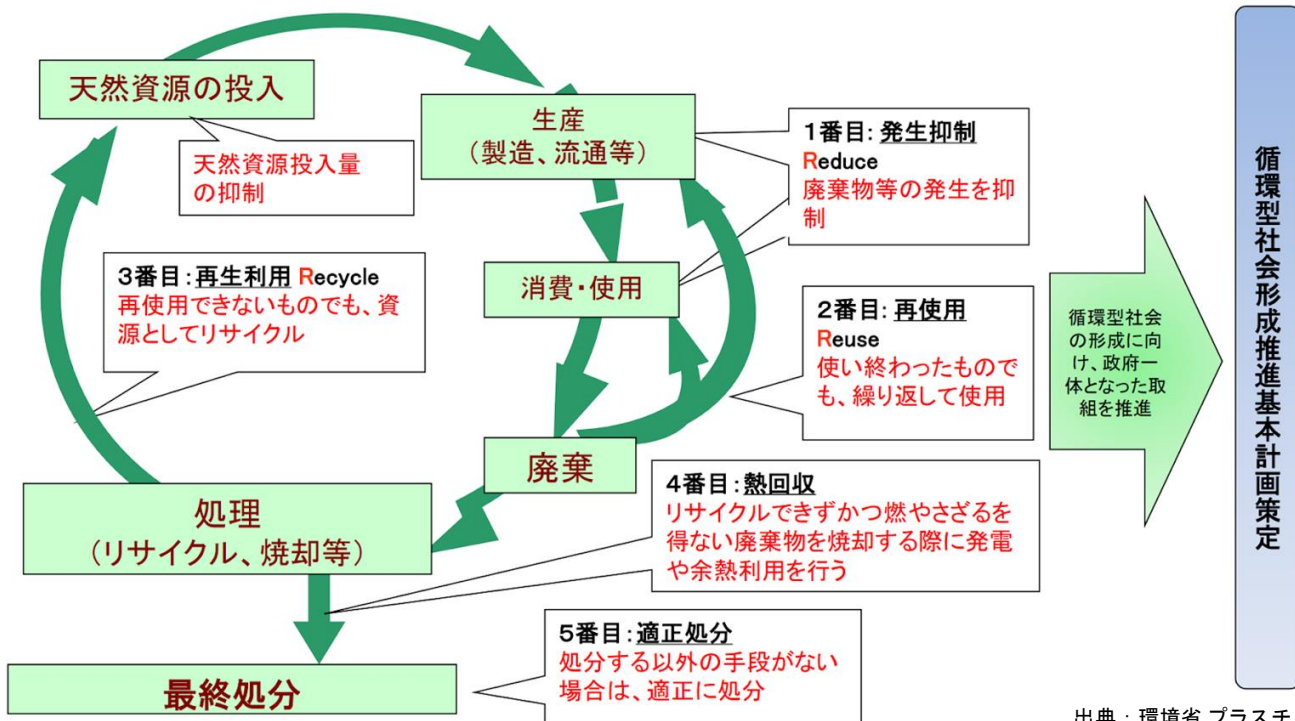


17 パートナーシップで
目標を達成しよう



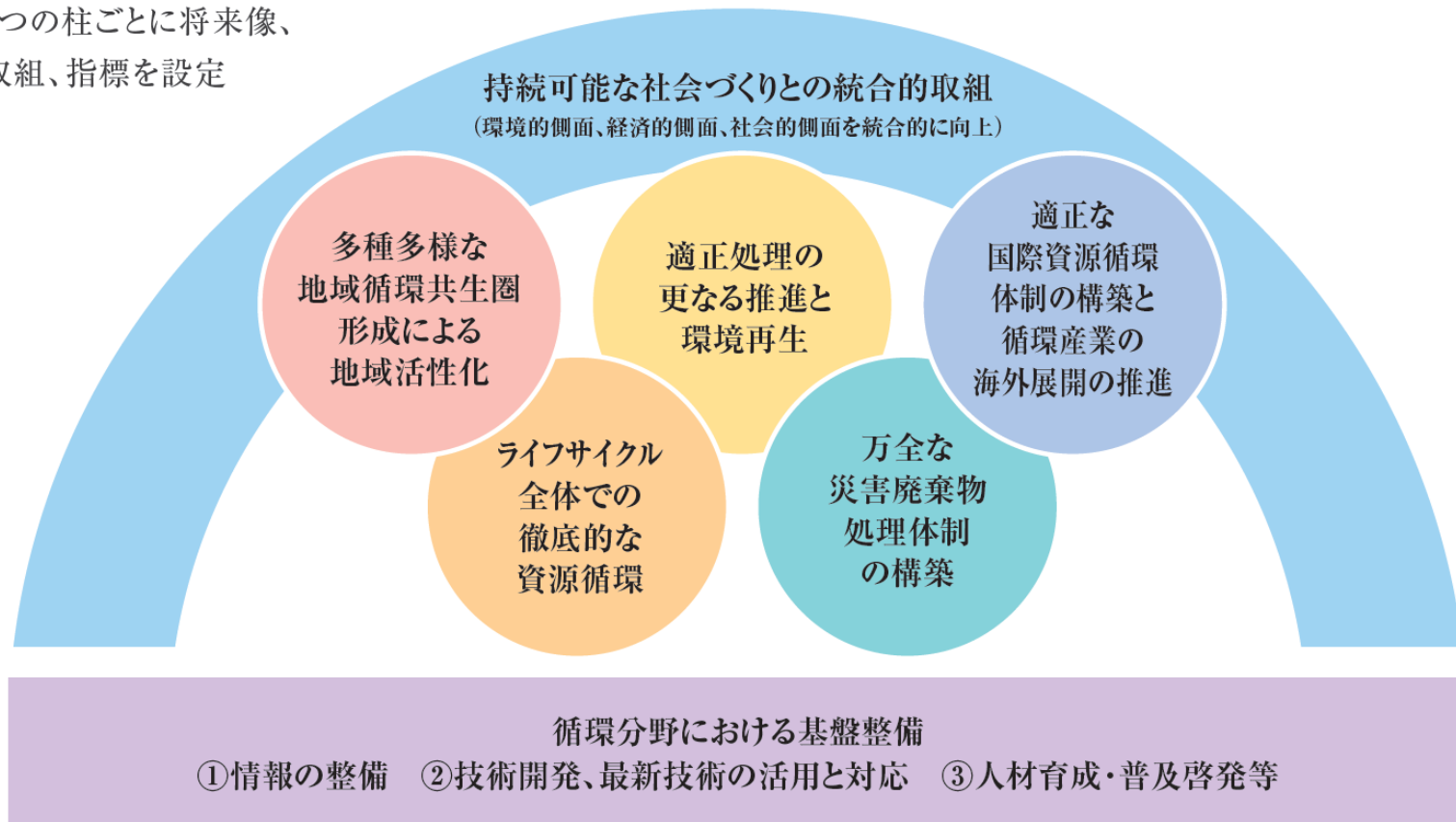
循環型社会形成推進基本法の目指す「循環型社会」

廃棄物等の発生抑制と適正な循環的利用・処分により、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会 【循環型社会形成推進基本法（平成12年6月公布、13年1月完全施行） 第2条第1項】



第四次循環型社会形成推進基本計画の構成

- 7つの柱ごとに将来像、
取組、指標を設定

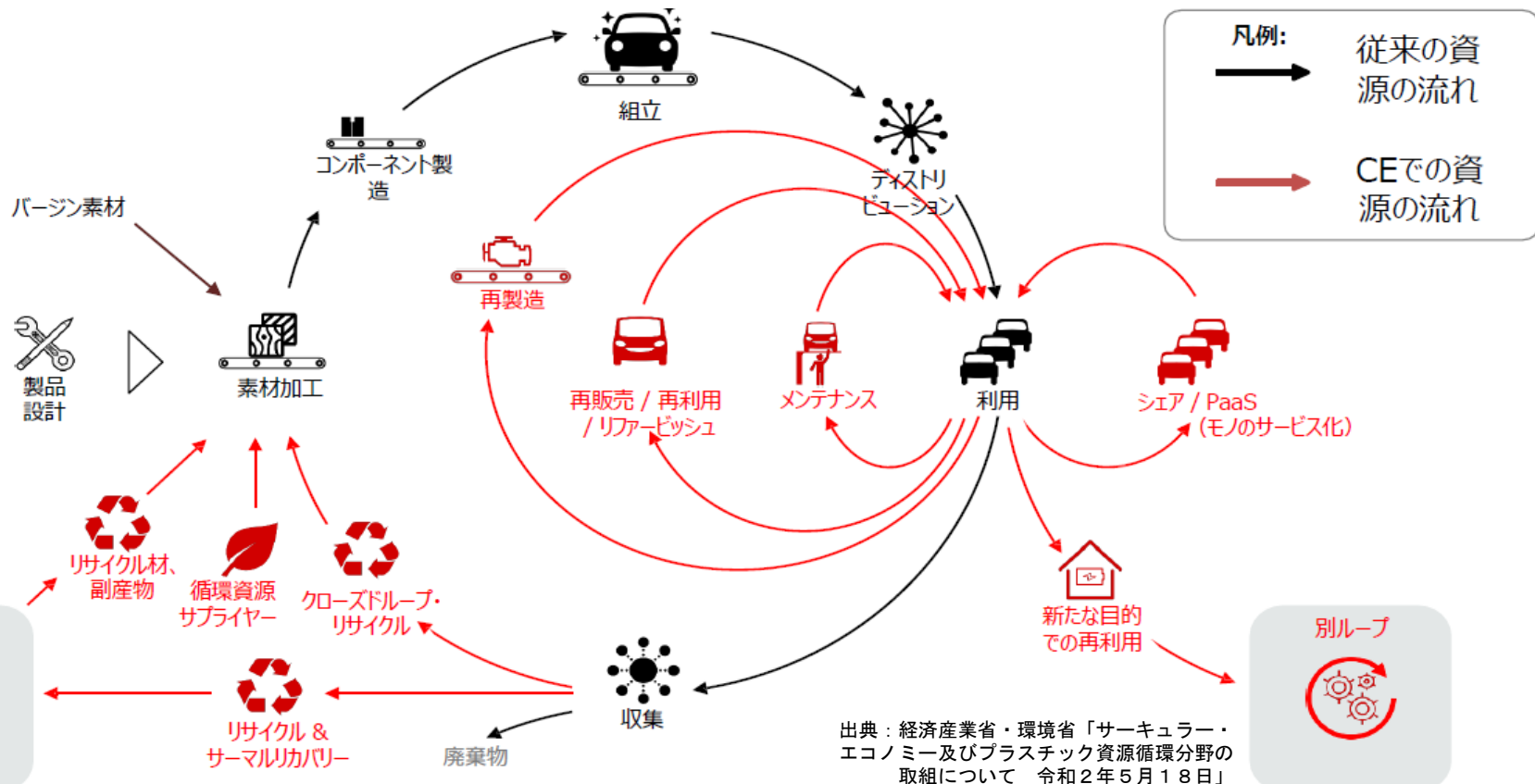


第4次循環基本計画における国の取り組み

国の取組

持続可能な社会づくりとの統合的な取組				
<ul style="list-style-type: none"> ○地域循環共生圏の形成 ○シェアリング等の2 Rビジネスの促進、評価 ○家庭系食品ロス半減に向けた国民運動 ○高齢化社会に対応した廃棄物処理体制 ○未利用間伐材等のエネルギー源としての活用 ○廃棄物エネルギーの徹底活用 ○マイクロプラスチックを含む海洋ごみ対策 ○災害廃棄物処理事業の円滑化・効率化の推進 ○廃棄物・リサイクル分野のインフラの国際展開 				
地域循環共生圏形成による地域活性化	ライフサイクル全体での徹底的な資源循環	適正処理の推進と環境再生	災害廃棄物処理体制の構築	適正な国際資源循環体制の構築と循環産業の海外展開
<ul style="list-style-type: none"> ○地域循環共生圏の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・課題の掘り起こし ・実現可能性調査への支援 ○コンパクトで強靱なまちづくり ○バイオマスの地域内での利活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○開発設計段階での省資源化等の普及促進 ○シェアリング等の2 Rビジネスの促進、評価 ○素材別の取組等 <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック戦略 ・バイオマス ・金属(都市鉱山の活用) ・土石・建設材料 ・太陽光発電設備 ・おむつリサイクル 	<ul style="list-style-type: none"> ○適正処理 <ul style="list-style-type: none"> ・安定的・効率的な処理体制 ・地域での新たな価値創出に資する処理施設 ・環境産業全体の健全化・振興 ○環境再生 <ul style="list-style-type: none"> ・マイクロプラスチックを含む海洋ごみ対策 ・空き家・空き店舗対策 ○東日本大震災からの環境再生 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治体 <ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物処理計画 ・国民へ情報発信、コミュニケーション ○地域 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ブロック協議会 ・共同訓練、人材交流の場、セミナーの開催 ○全国 <ul style="list-style-type: none"> ・D.Waste-Netの体制強化 ・災害時に拠点となる廃棄物処理施設 ・IT等最新技術の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○国際資源循環 <ul style="list-style-type: none"> ・国内外で発生した二次資源を日本の環境先進技術を活かして適正にリサイクル ・アジア・太平洋3 R推進フォーラム等を通じて、情報共有等を推進 ○海外展開 <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の質の高い環境インフラを制度・システム・技術等のパッケージとして海外展開 ・災害廃棄物対策ノウハウの提供、被災国支援
循環分野における基盤整備				
<ul style="list-style-type: none"> ○電子マニフェストを含む情報の活用 ○技術開発等(廃棄物分野のIT活用) ○人材育成、普及啓発等(Re-Styleキャンペーン) 				

サーキュラーエコノミー（循環経済）とは？



サーキュラーエコノミーの効果

EU(欧州)

- 経済成長と雇用創出 GDP+7%:約1兆ユーロ(123兆円)[2030年までに]
 - ・ 6,000億ユーロ(約74兆円)のコスト削減
 - ・ EU圏内での年商8%アップ
 - ・ 廃棄物管理分野における170,000人の直接雇用 [2035年までに]
- 競争力の強化と供給の安全確保
- 経済的・環境上の強靱性(レジリエンス)の構築
- イノベーションの誘発
- 温室効果ガスの総排出量を2~4%削減

出所) 欧州委員会、エレンマッカーサー財団

世界

- 世界全体で4.5兆USD(507兆円)の経済効果が見込まれる [2030年までに]。一方、我が国における循環経済のポテンシャルは、約20兆円以上のGDP増の可能性。
(出典: アクセンチュア)
- 2°Cシナリオを実現する温暖化対策のみでは、2050年のGDP-3.7%
→ 資源効率向上政策導入によりGDP+1.5%、温室効果ガス-63%削減[2050年]

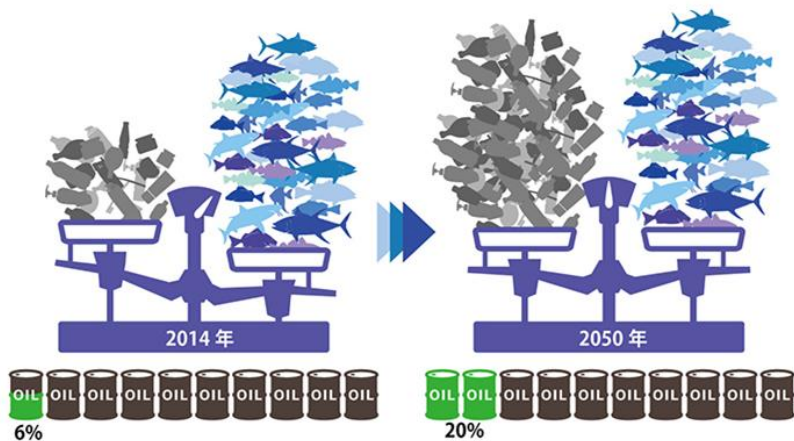
出所) UNEP国際資源循環パネル(IRP)

プラスチックを取り巻く状況

プラスチックを取り巻く国内外の状況

世界規模でプラスチック生産量と廃棄量が増大、海洋プラスチック問題へ

- 1950年以降生産されたプラスチックは83億トン超、63億トンがごみとして廃棄された
- 回収されたプラスチックごみの約1%が埋立あるいは海洋等へ投棄されている
- リサイクルされているプラスチックは9%に過ぎない
- 現状のペースでは、2050年までに120億トン以上のプラスチックが埋立・自然投棄され、「海洋プラスチックごみの量が海にいる魚を上回る」との予測がダボス会議で発表された



World Economic Forum (2016)
The New Plastics Economy: Rethinking the future of plastics



マイクロプラスチックとは？

微細なプラスチックごみ（5mm以下）のこと。含有／吸着する化学物質が食物連鎖に取り込まれ、生態系に及ぼす影響が懸念される。

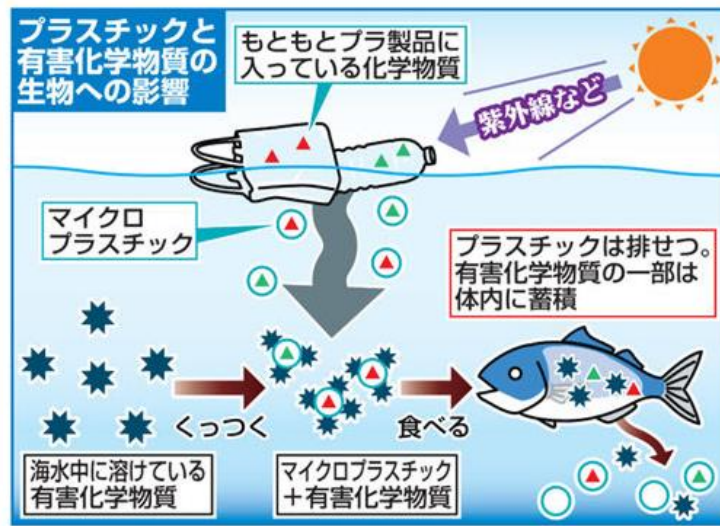


マイクロプラスチック例

出典：ピリカHP

https://plastic.research.pirika.org/?_ga=2.99764958.1961645548.160716

回収できないマイクロプラスチック食物連鎖で人にも



プラスチックと有害化学物質の生物への影響

出典：日刊スポーツHP 2019年8月19日記事「回収できないマイクロプラスチック食物連鎖で人にも」

マイクロプラスチックとは？

2015年独G7首脳宣言においても、海洋ごみ（とりわけプラスチック）が世界的な問題であることが確認された。



持続可能な開発目標(SDGs)のターゲットの1つとして「2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する」が掲げられている。



<G7伊勢志摩サミット（2016年5月）>

首脳宣言において、資源効率性及び3Rに関する取組が、陸域を発生源とする海洋ごみ、特にプラスチックの発生抑制及び削減に寄与することも認識しつつ、海洋ごみに対処することを再確認。

**海洋に流出したごみの回収は事実上不可能、不可逆な問題。
気候変動と同様、取り返しがつかなくなる前に対策が必要。**

プラスチックを取り巻く国内外の状況

2021年から中国のごみ輸入全面禁止

タイ2020年8月までに輸入全面禁止

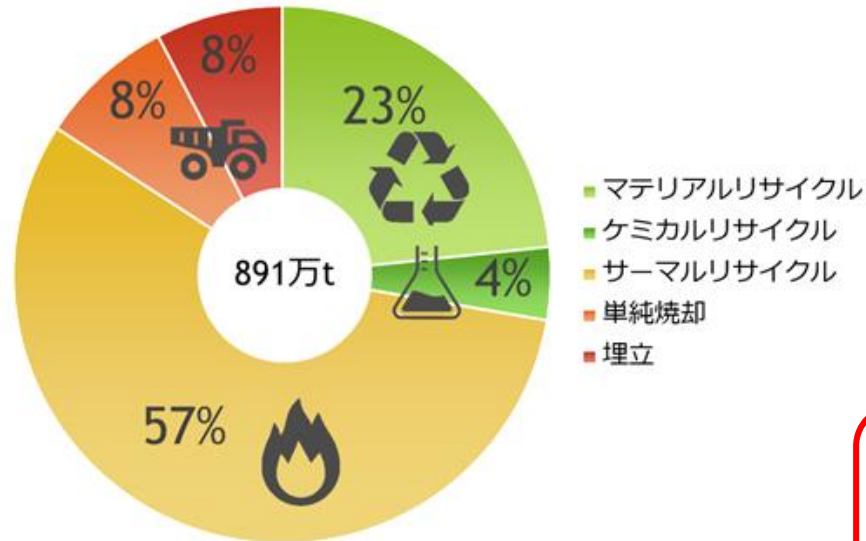
ベトナム2025年には輸入完全禁止

インド政府 2022年までに使い捨てプラ製品全廃



プラスチックを取り巻く国内外の状況

国内ではリサイクル率が84%と発表しているが、サーマルリサイクルを除くと実質27%しかプラスチックのリサイクルは進んでいない

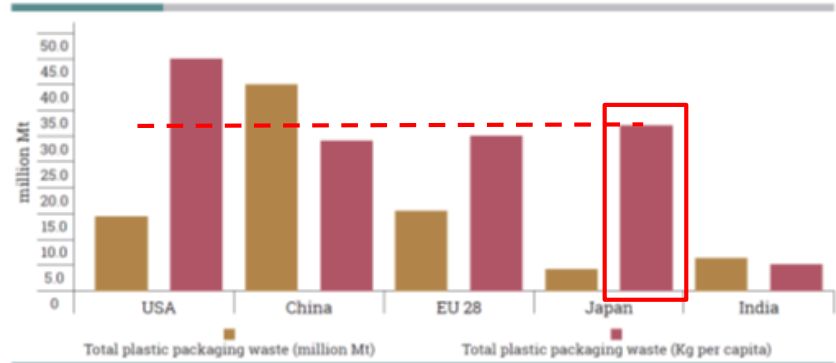


出典：一般社団法人プラスチック循環利用協会「プラスチックの基礎知識2020」

日本は容器包装プラごみ世界第2位。

図：人口1人あたりプラスチック容器包装廃棄量

Figure 1.5. Plastic packaging waste generation, 2014 (million Mt)¹⁷



Source: Adapted from Geyer, Jambeck, and Law, 2017

出典：UNEP 「SINGLE-USE PLASTICS A Roadmap for Sustainability」



これまで以上に、
国内資源循環の推進や
分別排出の徹底によるごみ減量
が求められる



環境省/プラスチック資源循環戦略

令和元年5月31日

日本のプラスチック再資源化戦略の基本原則・マイルストーン

出典：環境省「プラスチック資源循環戦略
(概要)」より抜粋

<https://www.env.go.jp/press/files/jp/111746.pdf>

「3R + Renewable」

<リデュース>

- ① **2030年**までにワンウェイプラスチックを累積**25%**排出抑制

<リユース・リサイクル>

- ② **2025年**までにリユース・リサイクル可能なデザインに
- ③ **2030年**までに容器包装の6割をリユース・リサイクル
- ④ **2035年**までに使用済プラスチックを**100%**リユース・リサイクル等により、有効利用

<再生利用・バイオプラスチック>

- ⑤ **2030年**までに再生利用を倍増
- ⑥ **2030年**までにバイオプラスチックを**約200万トン**導入

国民各界各層との**連携協働**を通じて、マイルストーンの達成を目指すことで、
必要な**イノベーション**（技術・**消費者のライフスタイル**）を促進

行政の対策

レジ袋有料化（経済産業省）



出典：経済産業省HP

ゼロエミッション東京戦略 プラスチック削減プログラム（東京都）



プラスチック削減プログラム
～プラスチックの持続可能な利用に向けて～



出典：東京都HP

かながわゴミゼロ宣言 （神奈川県）



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。
SDGs 未来都市 神奈川県

出典：神奈川県HP

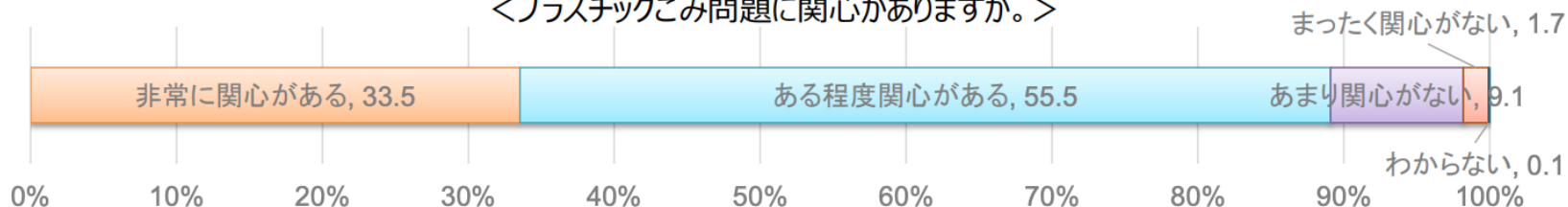
プラスチックスマート（環境省）



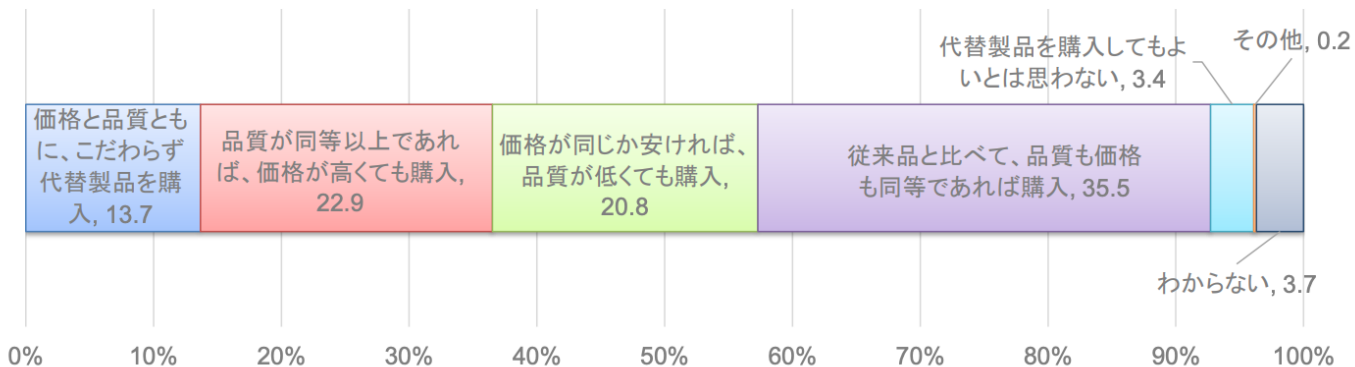
出典：環境省HP

プラスチックについての世論調査結果

＜プラスチックごみ問題に関心がありますか。＞



＜リサイクル材や植物由来プラスチックなどを使用した代替製品を購入してもよいと思いますか。
価格・品質などの条件に近いものはなんですか。＞



出典：2020.10.21 産業構造審議会 産業技術環境分科会 廃棄物・リサイクル小委員会
プラスチック資源循環戦略ワーキンググループ

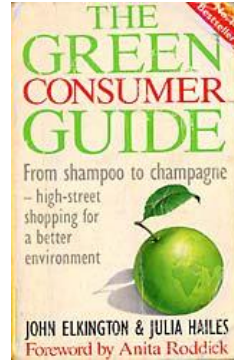
中央環境審議会 循環型社会部会 プラスチック資源循環小委員会 合同会議資料 第6回資料より抜粋

https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/haikibutsu_recycle/plastic_junkan_wg/pdf/006_s01_00.pdf

グリーンコンシューマー、エシカル消費

グリーンコンシューマー

環境を大切にする消費者が日常的にしている“買い物”を少し変えるだけで、商品の作り手、売り手、ひいては経済全体に影響を与えることのできる取り組み



環境

人

社会

エシカル消費

人や地球環境、社会、地域に配慮した考え方や行動

環境

人

社会

認証ラベルのある商品を選ぶ※



FSC®森林認証:
適切に管理された森林資源を使用した商品(紙製品など)



MSC認証:
海洋の自然環境や水産資源を守って獲られた水産物(シーフード)

生物多様性
への配慮



RSPO認証:
環境への影響に配慮した持続可能なパーム油使用の商品(洗剤など)

被災地の産品を買う
被災地の特産品を消費することで経済復興を応援。



地域
への配慮

地元の産品を買う
地産地消によって地域活性化や輸送エネルギーを削減。

環境
への配慮

エコ商品を選ぶ
リサイクル素材を使ったものや資源保護等に関する認証がある商品を購入。



社会
への配慮

フェアトレード商品を選ぶ
発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に取引された商品。



人
への配慮

障がいがある人の支援につながる商品を選ぶ
働きたい障がいがある人を支援している事業者の商品。

エシカル消費って
つまり
何を買うか考えるときの
ひとつの尺度です

世界の未来を変えるのは、あなたの日々の消費です。

※認証機関は他にも多数あり、これらはその一例です。

出典：消費者庁「エシカル消費ってなあに？」

重点課題と 企業の取り組み事例

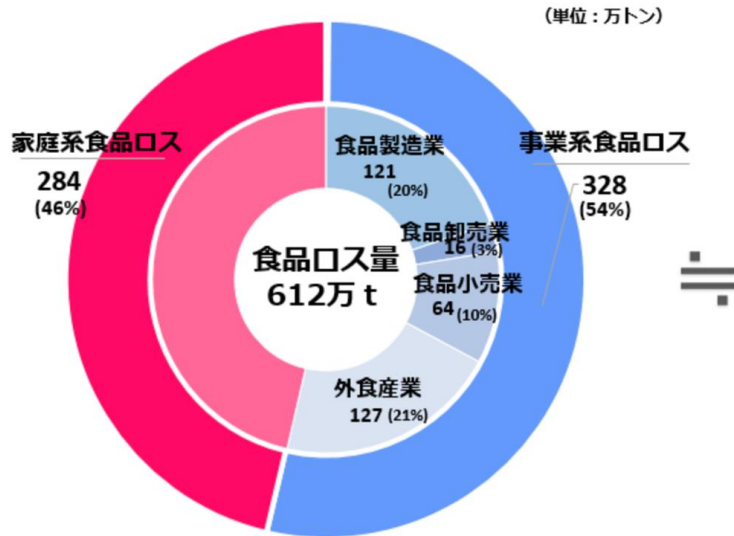
食品ロス削減の取り組み

日本の食品廃棄物等は年間2,550万t

その中で本来食べられるのに捨てられる「食品ロス」の量は約640万トン

令和元(2019)年10月、食品ロス削減推進法が施行

令和12(2030)年までに家庭系・事業系ともに食品ロス量半減目標



出典：農水省HP

国民1人当たり食品ロス量

1日 約132g

※ 茶碗約1杯のご飯の量に相当

年間 約48kg

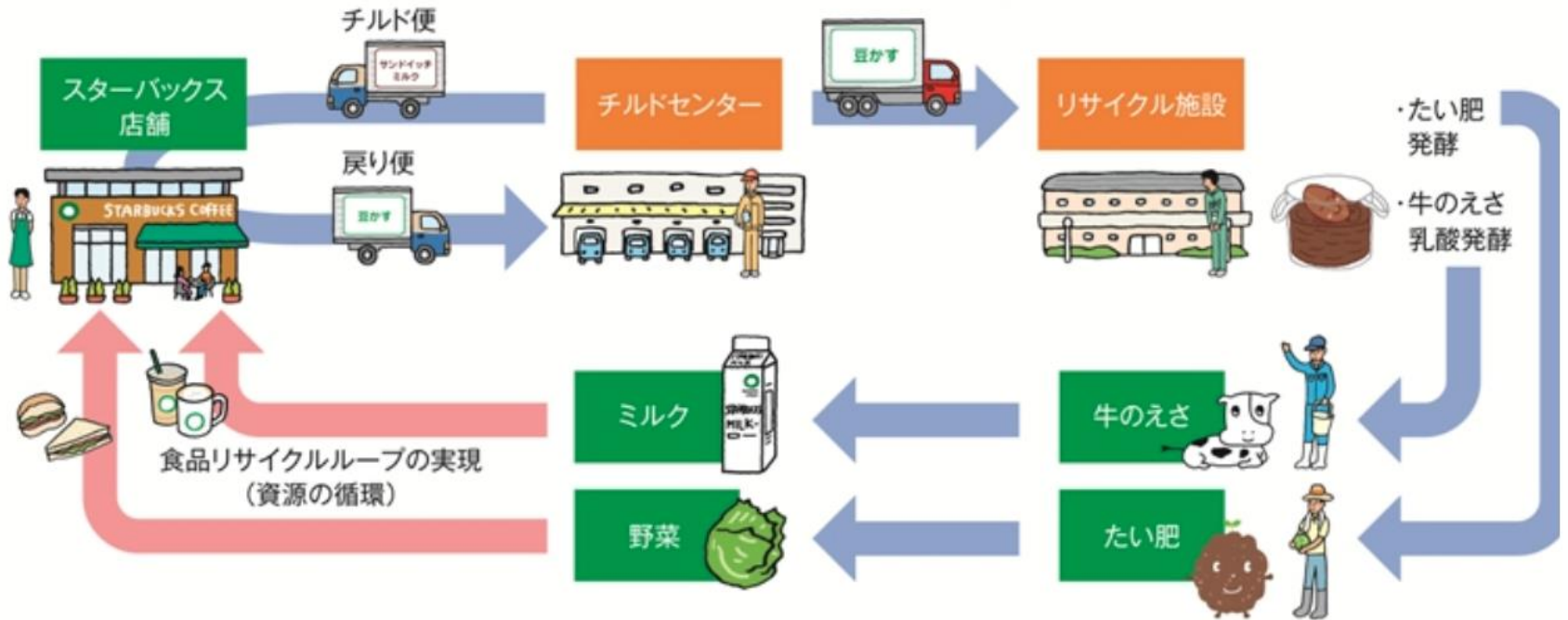
※ 年間1人当たりの米の消費量
(約54kg)に相当



資料：総務省人口推計(平成29年10月1日)
平成29年度食料需給表(確定値)

**多様な主体が連携して
食品ロス削減の取組を
進めていくことが必要**

食品リサイクルの取り組み コーヒーチェーンの豆かすリサイクル・ループ



食品行くるの取り組み コーヒーチェーンの豆かすりサイクル・ループ



出典：三重の食結び HP https://www.shoku.pref.mie.lg.jp/jp/contents2018_08.html

萩村製茶（三重県/水沢町）



出典：<https://kokucheese.com/event/index/430814/>

プラ資源循環戦略 施策の基本的方向性(1)

今後のプラスチック資源循環施策の基本的方向性（令和2年9月1日）

(2) プラスチック資源の回収・リサイクルの拡大と高度化

戦略では、使用済プラスチック資源の効果的・効率的で持続可能な回収・再生利用を図るため、幅広い関係者にとって分かりやすく、システム全体として効果的・合理的で、持続可能な分別回収・リサイクル等を適正に推進するよう、そのあり方を検討することとしている。

また、各主体の連携協働と全体最適化を通じて、費用最小化と資源有効利用率の最大化を社会全体で実現する、持続的な回収・リサイクルシステム構築を進めることとしており、これらを通じて、リサイクルの質と量を向上させることが重要である。

(i) 家庭から排出されるプラスチック資源の回収・リサイクル
家庭から排出されるプラスチック製容器包装・製品は、市町村での分別回収及び事業者による自主回収を一体的に推進し、最新技術で効率的に選別・リサイクルする体制を確保することが重要である。

【参考ページ】プラ資源循環戦略 施策の基本的方向性(2)

今後のプラスチック資源循環施策の基本的方向性（令和2年9月1日）

（iii）効率的な回収・リサイクルの基盤整備

プラスチック資源の回収・リサイクルを拡大していく上で、回収・リサイクル設備の効率性向上と処理能力の確保が不可欠である。

このため、バージン材と遜色のない高い品質の再生素材の供給等を目指す高度なマテリアルリサイクルやケミカルリサイクルを含め、プラスチック資源の性状に応じた最適な手法の選択が可能となるよう、必要なリサイクル・熱回収の技術開発と社会実装に向けたインフラの整備を支援する。

併せて、資源回収量の拡大等の今後の変化に対応し、その受け皿となるリサイクル事業者の処理ポテンシャルを有効活用する方策を必要に応じて検討する。

事例紹介：自主回収（ユニリーバ）

ユニリーバの製品を買ってまたはリサイクルしてたまる！

UMILEプログラム (ユーマイル) スタート!

1 ユニリーバ
キャンペーンページに
アクセス!

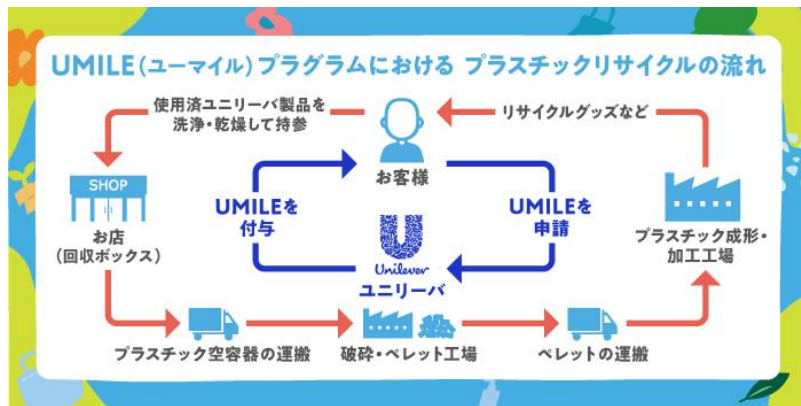
2 購入した
つめかえ対象製品と
レシートを一緒に撮影!

または
回収ボックスの指定の
位置に空容器を乗せて
スマホで撮影!

3 リサイクル
グッズ
ギフト
LINE ポイント
たまったらUMILEで
交換!

UMILEキャンペーン期間 2020年11月2日(月)～2021年10月31日(日)

メーカーが使用済みボトル・詰め替え用容器を自主回収、20円相当のマイル還元で消費者の行動変容を促す取り組み。



事例紹介：業界内外連携

フィルム容器のリサイクルに企業の枠を超えて取り組むことを発表

4つのアクションプラン

- 1) **消費者・行政・流通の連携**による、フィルム容器の分別回収のしくみを検討する
- 2) 幅広い製品への利用や消費者の分別回収のしやすさに配慮し、**企業間/業界の垣根を越えて**共通利用が可能なリサイクル材料・容器の品質設計に取り組む
- 3) **共同で回収・再生**したリサイクル材料の活用方法を検討
- 4) リサイクルに対する消費者の理解・協力を深めるため、**普及啓発活動**に取り組む



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



事例紹介：海洋プラスチックアップサイクル品

～プラスチックの新たな価値～

長年培った特殊なプラスチック加工・成形技術を生かし、海洋ごみとして劣化した状態のプラスチックを美しいトレイなどの工芸品にアップサイクル。



目標達成に向け 企業ができること

事業系ごみの抑制・資源循環に向けた重点施策

事業系ごみの発生抑制と適正処理の推進

- 1) ごみの分別、排出実態把握（計量）
- 2) ごみの減量、発生抑制
（リデュース・リユースの推進）
- 3) ごみの適正処理（排出者責任の履行）
- 4) 資源の循環利用の取り組み推進

プラスチックの使用抑制と資源循環の強化

- 1) 事業所内における海洋プラ問題の普及・啓発
- 2) リユース容器・マイカップ/マイボトル利用
- 3) 拡大生産者責任の自覚強化、資源循環の推進
 - ・ 不要なワンウェイプラスチック使用の抑制
 - ・ 事業者の主体的なリサイクルの高度化
 - ・ 環境負荷の少ない代替品への切替
 - ・ 分別やリサイクルに配慮した仕様への見直し

食品ロスの削減・食品リサイクルの促進

- 1) 事業所内における分別ルール徹底、普及・啓発
- 2) サプライチェーン連携による食品ロス削減、抑制
- 3) フードドライブの展開・支援
- 4) 食品産業事業者における食品リサイクルの促進

紙類の使用抑制と資源循環

- 1) ごみの減量、発生抑制
- 2) 分別、計量
- 3) 協働・拠点回収なども活用した
再生可能な資源の回収・リサイクル促進



いずれも、
「PDCAサイクルを回していくこと」
が大切です！



効果的な普及・啓発と環境学習の充実

ステップ1

ごみ問題に興味・関心を持つ

自分ごと化

ステップ2

環境人材育成

意識変容

ステップ3

自身の業務や清掃活動などの3R
推進行動の推進

行動変容

ステップ4

外部とも連携した活動の普及拡大

地域社会への貢献

ステップ5

ポイ捨て・散乱ごみの清掃活動など

地球規模の海洋
プラ問題への貢献

SDGsの視点で環境関連分野は 新規事業開発・事業拡大のチャンス

リサイクル、環境保全、持続可能性に関する認証付き原材料をを使った環境配慮型商品、売り上げの一部を非営利団体に寄付する仕組みを持つ「社会貢献型商品」なども

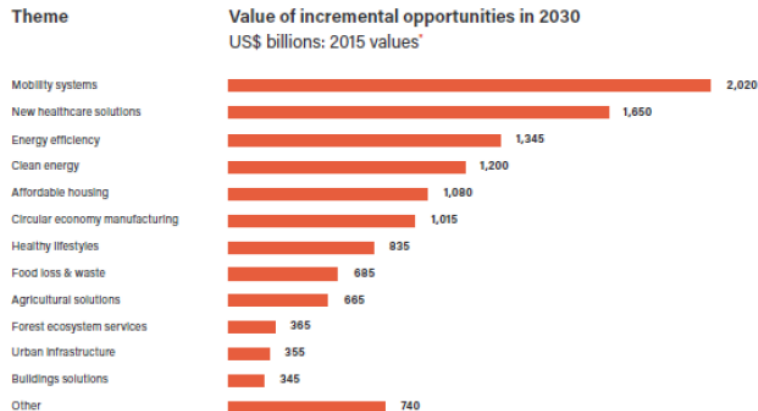
2030年における漸増的市場機会の価値（図）
出典：ビジネス&持続可能開発委員会(2017)「より良きビジネス、より良き世界」
経産省 事務局説明資料（議題：SDGsとイノベーション経営）より抜粋

グローバル目標とビジネスチャンスが連動する60の領域

	🍏 食料と農業	🏙️ 都市	🏭 エネルギーと材料	🏠 健康と福祉
1	バリューチェーンにおける食糧浪費の削減	手ごろな価格の住宅	サーキュラーモデル - 自動車	リスク・プーリング
2	森林生態系サービス	エネルギー効率 - 建物	再生可能エネルギーの拡大	遠隔患者モニタリング
3	低所得食糧市場	電気およびハイブリッド車	循環モデル - 装置	遠隔治療
4	消費者の食品廃棄物の削減	都市部の公共交通機関	循環モデル - エレクトロニクス	最先端ゲノミクス
5	製品の再調整	カーシェアリング	エネルギー効率 - 非エネルギー集約型産業	業務サービス
6	大規模農場におけるテクノロジー	道路安全装置	エネルギー保存システム	偽造医薬品の検知
7	ダイエタリースイッチ	自律車両	資源回復	たばこ管理
8	持続可能な水産養殖	ICE (内燃エンジン) 車両の燃費	最終用途スチール効率	体重管理プログラム
9	小規模農場におけるテクノロジー	耐久性のある都市構築	エネルギー効率 - エネルギー集約型産業	改善された疾病管理
10	小規模灌漑	地方自治体の水漏れ	炭素捕捉および格納	電子医療カルテ
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

EXHIBIT 5:

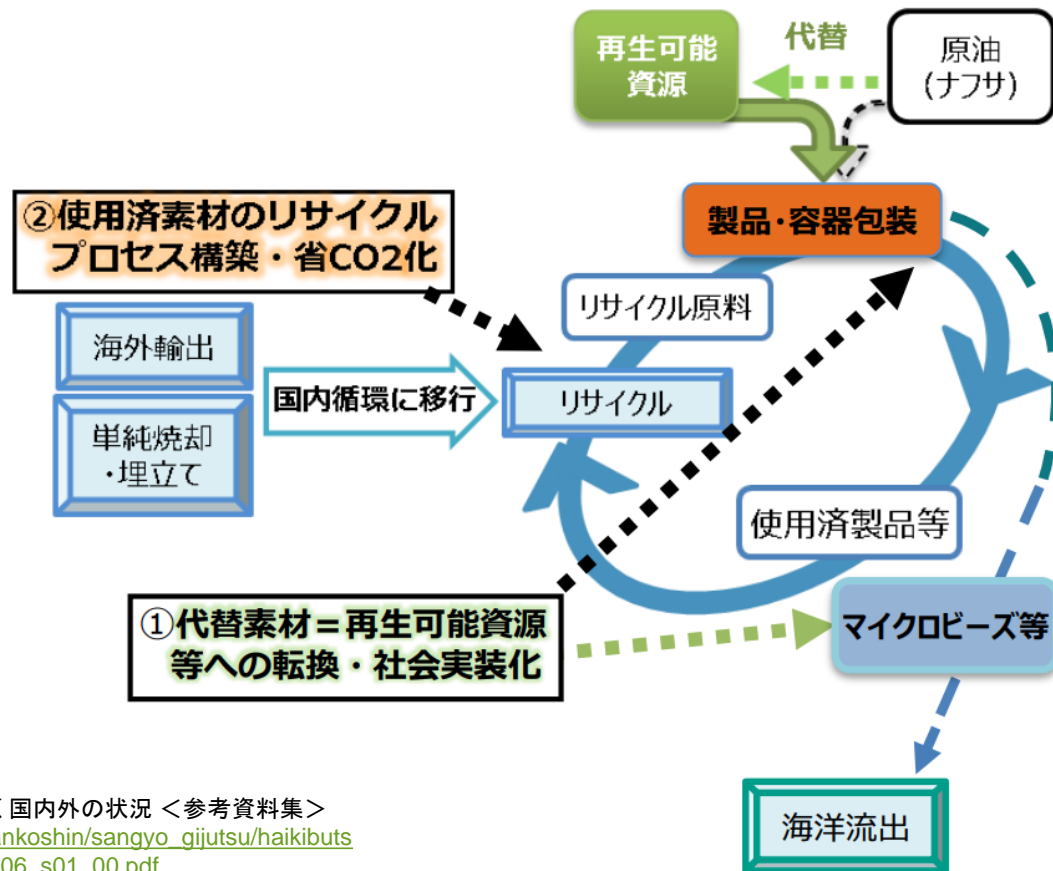
12 largest business themes in a world economy heading for the Global Goals



* Based on estimated savings or project market sizings in each area. Rounded to nearest US\$ billion.

Source: Literature search; AlphaBeta analysis

脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業 (環境省)



再掲：SDGsのゴール

環境保全と経済成長は、ともに社会発展のための両輪

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



2020年から「行動の10年 (Decade of Action)」がスタート

SDGsの視点で 持続可能な三重県を！

Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development (我々の世界を変革する)

将来世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、今日の世代のニーズを満たすような開発をパートナーシップで実現し、きちんと次の世代に資源を残していこう。



速水林業（三重県尾鷲）の森（演者撮影）

さいごに・・・私が大切にしている言葉

REDUCE

REUSE

RECYCLE

RESPECT

敬

for the planet

ありがとうございました。
三重県、応援しています！

